レイシー
水陸両用ポンプ
RSD 型
取扱説明書

保証書付

保証書は、最終ページに刷り込まれていますので必ず記入を受けてください。

⚠ 安全に関するご注意／ご使用の前に取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

REI-SEA

目次

はじめに

このたびはレイシー水陸両用ポンプＲＳＤ型をお買い上げいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は、お客様にレイシー水陸両用ポンプＲＳＤ型を安全で正しくお使いいただくためのものです。本機をお使いになる前には、必ず本書をよくお読みください。

お読みになった後は、本機をお使いになるかたがいつでも読むことができるところに大切に保管してください。本機をゆずられる場合は、次に使用されるかたのために本書をポンプに付けておいてください。また、本書を読んでも、取扱方法が分からないときには、お買い求めの販売店または本書記載の当社にお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

取扱説明書に記載する記号について

本書では、特に重要な事項や知っておいていただきたいことを、記号を用いて説明しております。それぞれの記号とその内容は次のとおりです。

警告事項を守らないと死亡や重傷に至る重大な事故を起こす恐れがあります。

注意事項を守らないとケガを負ったり、製品が損傷を起こす恐れがあります。

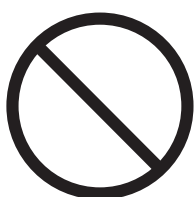
製品を使用するうえで、知っておいていただきたいことについて説明します。

必ず守ってください

本製品を安全に正しくお使いいただくために、次のことがらを必ず守ってください。

お使いになる前に

警　告

活魚、観賞魚および水草用水槽以外の用途には使用しないでください。

このポンプは活魚、観賞魚および水草などの水槽用ポンプです。（水・海水専用）。その他の用途には使用しないでください。

燃えやすいもののそばに設置しないでください。

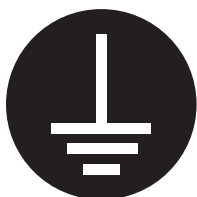
カーテンなどの燃えやすいもののそばや粉塵の発生する場所、腐食性を持ったガス（塩素ガスなど）の発生する場所での使用・保管は火災の原因や身体へ害を及ぼすことがあります。

この様な場所では使用・保管しないでください。

湯気、ほこり、油煙などの多い場所や熱源の近く、高温（40℃以上）になるところに置かないでください。

湯気、ほこり、油煙などの多い場所や熱源の近く、高温（４０℃以上）になるところ、またはなる恐れのあるところに設置すると、火災や感電が生じる恐れがあります。

湯気、ほこり、油煙などの多い場所や熱源の近く、高温（４０℃以上）になるところには、ポンプを設置しないでください。

アースを取り付けてください。

アースを取り付けないで使用すると、感電する恐れがあります。
アースは必ず取り付けてください。
アースは必ず専用アース線に取り付けてください。

警　告

電源コードは大切に扱ってください。

電源コードに重いものを載せたり、加熱、加工、または引っ張ったりすると、電源コードがいたみ、感電や火災が生じる恐れがあります。

電源コードは大切に扱ってください。

改造しないでください。

ポンプを改造すると、火災や感電が生じる恐れがあります。

ポンプが故障したり、破損したら、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

使わないときは、コンセントを電源プラグから抜いてください。

長時間電源プラグを差し込んだままにすると、ほこりなどがプラグに付着して火災が生じる恐れがあります。

使わないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

注　意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電する恐れがあります。

電源プラグを取り扱うときは、よく水分を拭き取ってください。

運転するときには

警　告

煙やこげくさい臭いがしたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙やこげくさい臭いがしたまま使用すると、火災や感電が生じる恐れがあります。

煙やこげくさい臭いがしたら、すぐに電源プラグを抜きお買い求めの販売店にご連絡ください。

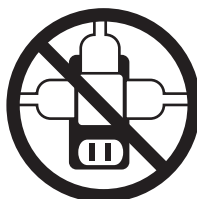
モータ部の樹脂カバーが変形・変色した場合、すぐに運転を中止してください。

運転中にモータ部の樹脂カバーが変形したり、色が変わったりした場合、そのまま運転を続けると火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源プラグを抜き運転を中止してお求めになった販売店にご相談ください。絶対にそのまま運転を続けないでください。

交流 100V 以外を使用しないでください。

本ポンプを交流１００Ｖ（５０または６０Ｈｚ）以外で使用すると、故障や火災が生じる恐れがあります。

本ポンプは、交流１００Ｖ（５０または６０Ｈｚ）以外で使用しないでください。

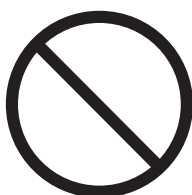
延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。

延長コードを使用したりたこ足配線をすると、火災が生じる恐れがあります。

延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。

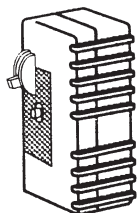
注　意

ポンプ停止が頻繁に起きる場合は販売店にご相談ください。

ポンプの停止が頻繁に起きる場合は異常がありますのですぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お求めになった販売店にご相談ください。

不安定なところや振動するところには置かないでください。

陸上でポンプを設置する場合、ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定なところや振動するところに設置すると、落ちたり、倒れたりしてケガをする恐れがあります。

ポンプは、安定した水平なところで振動がないところに設置してください。

漏電ブレーカーを取り付けてください。

ポンプに漏電ブレーカーを取り付けないで使用すると、感電する恐れがあります。

ご使用の際は市販の漏電ブレーカーを取り付けてください。

運転中・運転直後はモータ部が高温になっていますので触れないでください。

ポンプ運転中・運転直後は、モータ部が高温になっています。冷えるまで素手で触れたりしないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。

注　意

電源コードや電源プラグにキズやヒビなどが入ったものは使用しないでください。

電源コードや電源プラグにキズや、ヒビなどが入ったものを使用していますと火災などの原因となります。定期的に電源コードや電源プラグをコンセントから抜き、点検してください。

水または中性洗剤以外は使用しないでください。

本体外観の汚れを落とす際は、やわらかい布でからぶきしてください。汚れが落ちにくい場合は、水または中性洗剤を少量しみこませた布でふきとるようにしてください。

ベンジン、シンナー、灯油、みがき粉、非中性洗剤などを使用すると、製品をいためますので、水または中性洗剤以外は使用しないでください。

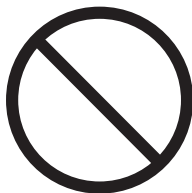
水・海水以外の液体、高温（40℃以上）の飼育水に使用しないでください。

水･海水以外の液体、高温（４０℃以上）の飼育水に使用すると、故障する恐れがあります。

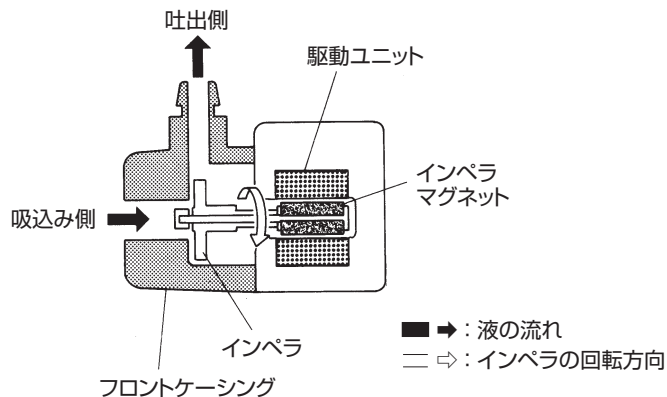
水・海水以外の液体、４０℃以上の飼育水に使用しないでください。

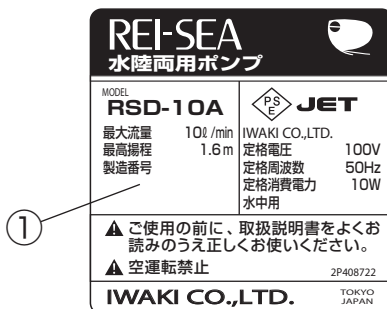
ポンプの空運転は絶対にしないでください。

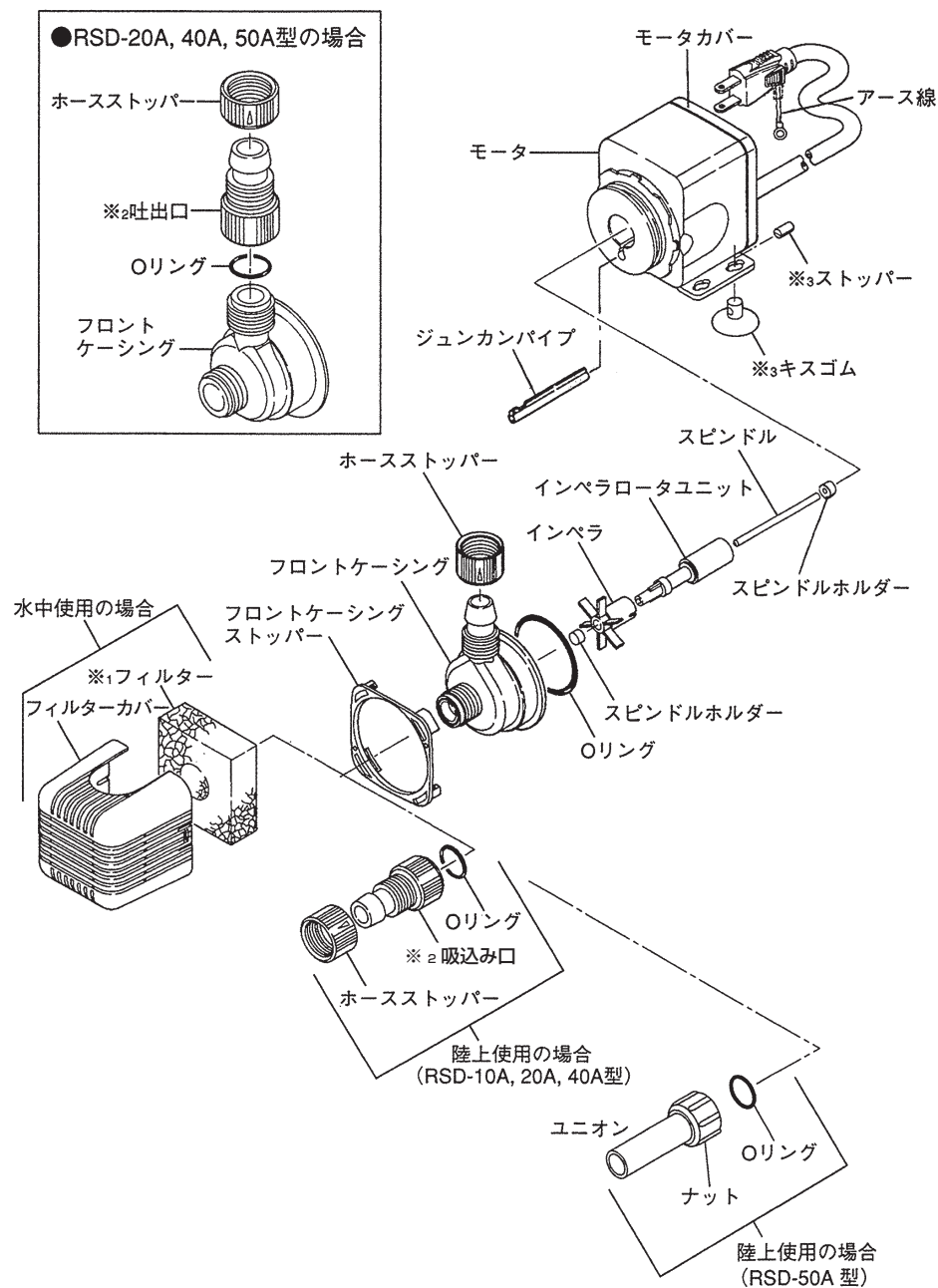
必ずポンプ配管内に、水または海水を満たした状態でご使用ください。水分がなくなり空運転状態になりますと摩擦により熱が発生してポンプ内が破損します。ポンプの空運転は絶対にしないでください。

電源プラグをぬらさないでください。

電源プラグをぬらしたり、水没させたりしないでください。
ぬれた電源プラグを使用すると火災・感電・故障の原因となります。

製品概要

ＲＳＤ型ポンプは、マグネットドライブ方式のうず巻きポンプ（水陸両用）です。磁力によりインペラをポンプ室内（フロントケーシング）で回転させ、水（海水）を吸込み側から吐出側へ送り出します。

製造番号

アフターサービスなどについてのご相談に対し的確な判断・処理をするためには、正しい製造番号が必要です。アフターサービスなどのお問い合わせには、必ず正確な製造番号をご連絡ください。製造番号①は、以下のような銘板に刻印してあります。

各部の名称

■ 分解図（図は RSD-10A 型）

※ 1　異物吸込み防止用です。（ろ過用ではありません。）

※ 2　吐出口と吸込み口は同じものです。（RSD-20A, 40A 型）

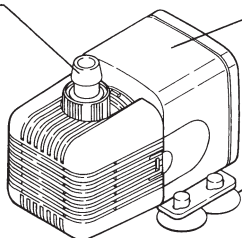
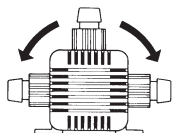
※ 3　RSD-40A,50A 型にはキスゴム、ストッパーは付きません。

主な特徴と使用例（ポンプは必ず、水面より低いところに設置してお使いください）

■ 水中で使用する場合

水中使用の場合、吐出側に配管して使用します。

● 主な特徴

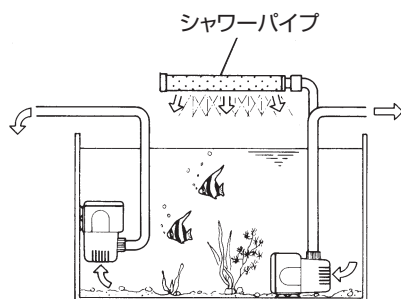
吐出口の向き
● 上･左･右の3方向に
変えられます。

横向き･縦置き
● 横置き･縦置きどちらでも
使えます。

キスゴム装着
● キスゴムを装着し固定します
ので簡単に取り付けられます。

⚠ 注意

※ RSD-40A,50A 型はキスゴムでは取り付けられません。ネジなどにて固定してください。

● 使用例

○ 水槽内の循環用 / 排水・水替

設置場所

・ポンプの吸込み口付近が水草や砂利などで覆われないような場所を選んでください。

⚠ 注意

キスゴムで固定する場合、水槽の取り付け面が汚れていると充分に固定できません。ポンプが外れ落ち、水槽を割ることのないよう水槽面の汚れ（水アカなど）をよく取り除いてから取り除いて付けてください。
また、いったん取り外し、再び取り付けるときも水槽面の汚れを取り除いてから取り付けてください。

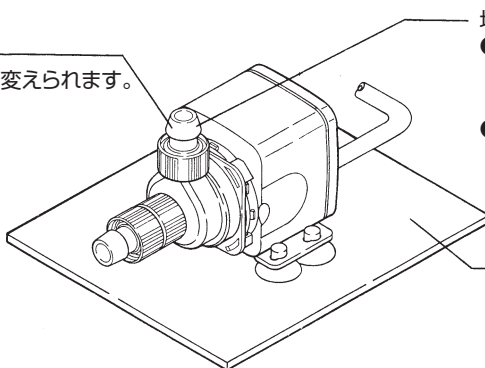
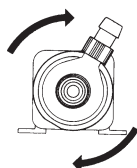
⚠ 注意

稚魚や小型の魚の飼育の場合、フィルターカバーの吐出口側のすき間より、吸込まれることがありますので、ネットなどでカバーをしてください。

※ RSD-40A,50A 型は水槽の底面に水流により動かないよう設置してください。

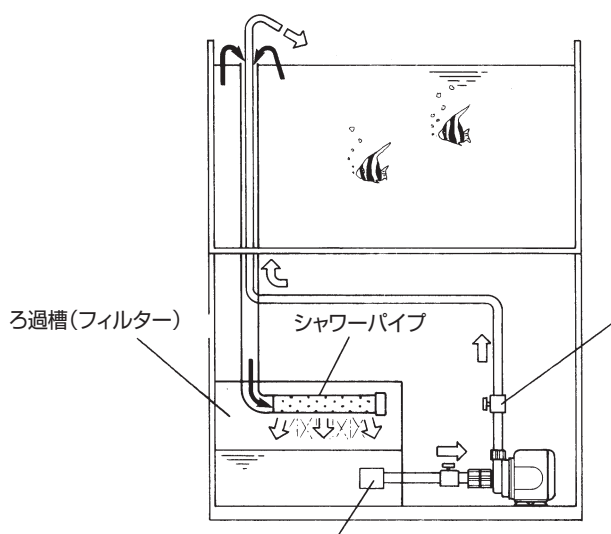
■ 陸上で使用する場合

陸上使用の場合、ポンプ本体よりフィルターカバー、フィルターを外して使用します。

● 主な特徴

● 使用例

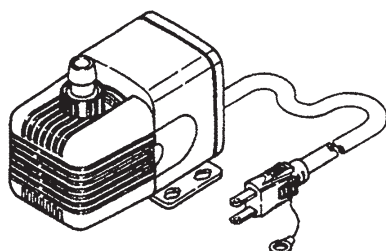
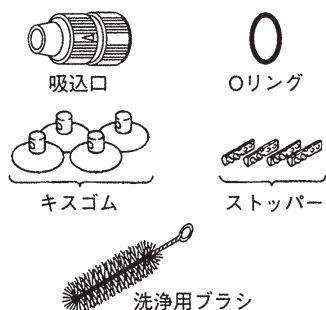
○ 下部ろ過システム

ろ過槽（フィルター）

シャワーパイプ

バルブの取り付け
● ポンプのメンテナンスのとき、面倒な配管外しや排水せずにポンプを取り外せます。

フィルターまたはストレーナの接続
● ポンプの吸込み口から小石の異物を吸込まないように必ず取り付けてください。

設置するために

同梱品の確認

■ お使いになる前にご確認ください。

1 ご注文どおりの製品かどうか。

2 内容品がすべて揃っているかどうか。

① ポンプ本体・・・・・・・・・・・・ 1台

② 付属品

● RSD-10A,20A

- キスゴム・・・・・・・・・・・ 4個
- ストッパー・・・・・・・・・・ 4個
- 吸込み口（ホースストッパー付）・・・ 1セット
- Oリング・・・・・・・・・・・ 1個
- 洗浄用ブラシ・・・・・・・・・ 1個

● RSD-40A

- 吸込み口（ホースストッパー付）・・・ 1セット
- Oリング・・・・・・・・・・・ 1個
- 洗浄用ブラシ・・・・・・・・・ 1個

● RSD-50A

- ユニオン継手１６Ａ（吐出口用）・・・・・・・・・ 1個
- ユニオン継手２０Ａ（吸込み口用）・・・・・・・・ 1個
- Oリング（１６Ａ用）・・・・ 1個
- Oリング（２０Ａ用）・・・・ 1個
- 洗浄用ブラシ・・・・・・・・・ 1個

3 輸送中の事故などで破損していないか。

※ もし不具合な点がございましたら、お買い上げいただいた販売店にご照会ください。

据え付け

ＲＳＤ型ポンプは、フィルターカバー、フィルターの着脱により水中・陸上のどちらでも使える水陸両用型ポンプです。次の取り扱い要領に従ってお使いください。

1. ポンプの据え付け

1 設置場所

● 水中で使用するとき
ポンプの吸込み口付近が水草や砂利などで覆われない場所を選んでください。

● 液面高さの確保（最低水位レベル）
液面の高さは、ポンプ上部より５ｃｍ以上にてお使いください。

⚠ 注　意

充分な液面高さが確保されないと、ポンプ室内が水で満たされず、空運転となり、ポンプが破損する恐れがあります。

⚠ 注　意

活魚 (イシダイ、伊勢エビなど) を飼育する場合は、魚がかじってポンプの電源コードにキズを付けることのないように保護カバー (パイプ) を付けてください。

● 陸上で使用するとき
ポンプの付近には余計なものを置かず平らな板の上に固定してお使いください。

⚠ 警　告

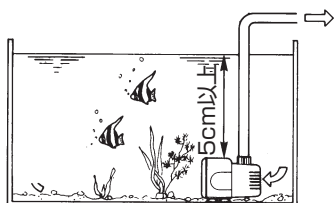
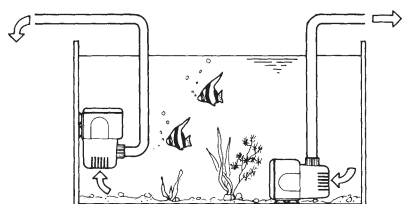
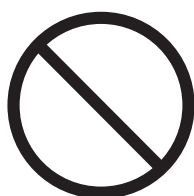
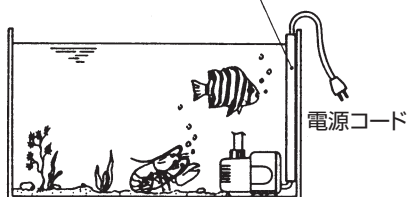
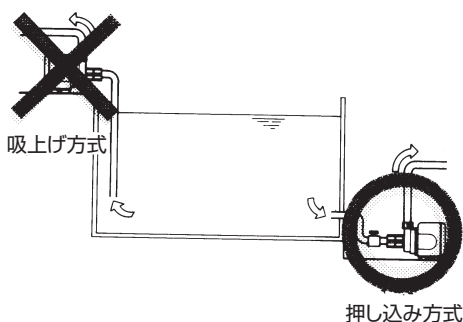
湯気、ほこり、油煙などの多い場所や熱源の近く、高温 (40℃以上) になるところに置くと、火災や感電が生じる恐れがあります。

湯気、ほこり、油煙などの多い場所や熱源の近く、高温 (40℃以上) になるところには、ポンプを設置しないでください。

⚠ 警　告

陸上でポンプを設置する場合、ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定なところや振動するところに置くと、落ちたり、倒れたりしてケガをする恐れがあります。

ポンプは、安定した水平なところで振動がないところに置いてください。

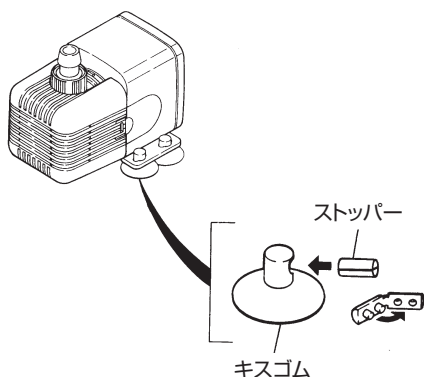
吸上げ方式

押し込み方式

2 押し込み方式専用

ポンプは自吸式（吸上げ）ではありません。必ず押し込み方式でお使いください。

⚠ 注　意

ポンプは水面より低い位置に設置し、ご使用前にポンプ部内を水 (海水) で満たしてください。

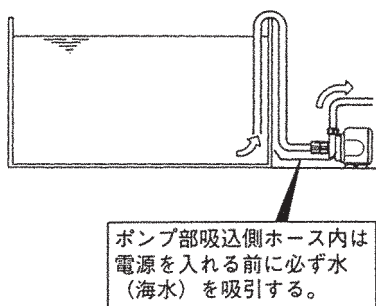
ストッパー

キスゴム

3 キズゴムの装着 (RSD-10A,20A 型のみ)

付属のキスゴムを装着し、必ず固定してお使いください。

● 水槽内に取り付けるとき
水槽の底面または側面に直接吸着してください。

● 水槽以外に取り付けるとき
平らな板 (樹脂製がよい) に吸着し、板を固定するか、ポンプをネジで固定してください。

ポンプ部吸込側ホース内は電源を入れる前に必ず水（海水）を吸引する。

4 吸込み方式

吸込み方式で使用する場合は、次のことを厳守してください。

① 必ずポンプ部に水（海水）を吸引し、満水にしてから電源を入れてください。

● ポンプの吐出側ホースより吸上げてポンプ部に水を吸引してください。(サイフォンの応用)

② ポンプをいったん止めた場合にも、その都度①項と同様の方法でポンプ部に水を吸引してください。

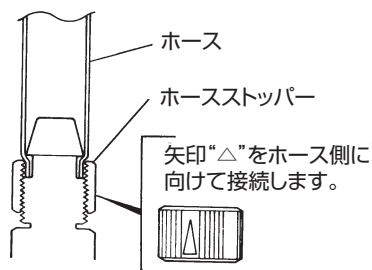
● ポンプをいったん止めてしまうとホース内の水は分離し、ポンプ部、吸込み側ホース内に空気が溜まります。このまま再始動すると水流は途切れ、空運転状態となり故障の原因となります。

③ 吸込み側ホースの先端は、水面から浮き出さないようにしてください。

④ 吸込み側ホースより小石などの異物を吸込まないようにしてください。

配　管

ホースの接続

○ ホースの取り付けかた

陸上使用の場合は、フィルターカバーを取り外して吸込み口に取り替え使用します。

吸込み口にホースストッパーをネジ込み取り付けてから、フロントケーシングの吸込み側へ取り付けてください。

● 29頁「消耗部品の交換方法」の6項（Oリングの交換方法）を参照し、取り付けてください。

○ ホースの配管

●ホース先端形状

市販の塩化ビニール製ブレードホースを用い、漏れやエアーの吸込みがないよう確実に接続してください。

☞ アドバイス

ホースは耐食性があり使用温度、ポンプ圧力に耐えられるものを使用してください。

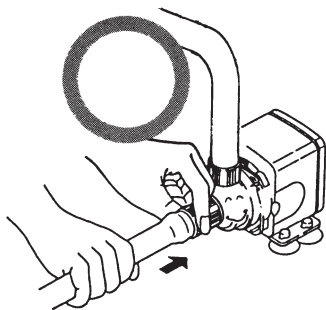
本機のオプションとして、レイシーホース１５２０（内径１５、外径２０）、１９２５（内径１９、外径２５）を販売しています。

1 ホースストッパーを吸込み口、吐出口にネジ込み、ホースを接続してください。ホースを差し込み、ホースストッパーを逆回しにして固定します。

● ポンプ口径に合ったホースをお選びください。またホースの先端は平らに切ったものをお使いください。

⚠ 注　意

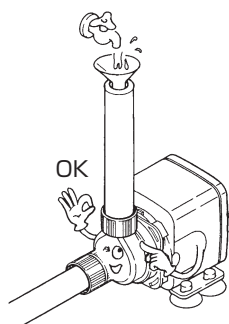
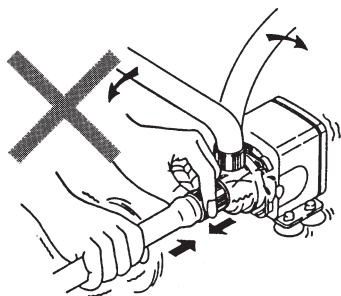
水温が高い場合、ホースが吸引力により潰れることがあります。水温、吸引力に耐える肉厚のあるホースをお使いください。

2 ホース接続時、吐出口の向きがずれたり、吐出口の向きを変えた場合には、フロントケーシングストッパーが外れる（または緩む）ことがあります。その際は必ず確認し取り付けなおしてください。

3 ポンプ部に無理な配管荷重をかけないようにしてください。

接続したホースを強く引っ張ったり、曲げたり、あるいはパイプを強引につなげたりすると、ポンプ部（フロントケーシング）に無理な力が加わり、フロントケーシングとモータとの取り付け部にすき間を生じてしまいます。

⚠注　意

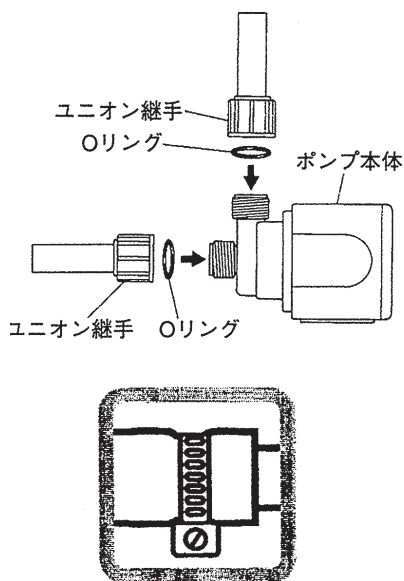
口径の合わないホースを無理に接続したり、熱を加えてネジ込むなど無理な接続をすると、ホースの破損や水漏れが生じる恐れがあります。

口径の合ったホースを使用し、熱を加えないで接続してください。

4 接続が終わりましたら、ポンプ部・ホース内に水を入れ、漏れがないかどうか確認してください。漏れるようであれば手なおしが必要です。

ユニオン接続

ＲＳＤ‐５０Ａ型はユニオン継手を接続した使用方法が可能です。
また、ＲＳＤ‐２０Ａ・４０Ａ型も別売のユニオン継手でユニオン接続が可能となります。

○ ユニオン継手セット (別売)

部　品　名　称		個　数	備　考
ユニオン継手 (O リング付き)		2 セット	VP-16

● 使い方

フィルターカバー、フィルターを取り外して、フロントケーシングの吐出・吸込みをユニオン継手に替え使用します。

● 接続方法

① ホースを使用する場合

ホースを接続しホースバンドで締め付け固定してください。

注　意

吸込み側の配管接続部にすき間があると、空気を吸込んで空運転になり故障・水漏れが生じる恐れがあります。

接続部のすき間をなくすために、接続部はホースバンドでしっかり固定してください。

② 塩ビ配管を使用する場合

塩ビパイプの外周に接着剤を適量（たれない程度）塗布して、ユニオン継手に差し込み固定してください。

※ 接着剤が硬化するまでは使用しないでください。
推奨接着剤：塩化ビニール系樹脂接着剤

配　線

警　告

電源コードに重いものを載せたり、加熱、加工、または引っ張ったりすると、電源コードがいたみ、感電や火災が生じる恐れがあります。

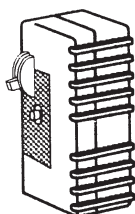
電源コードは大切に扱ってください。

注　意

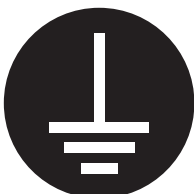
ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電する恐れがあります。

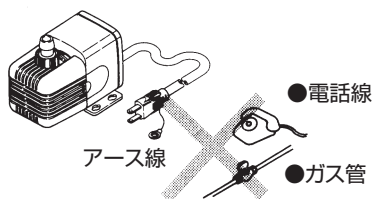
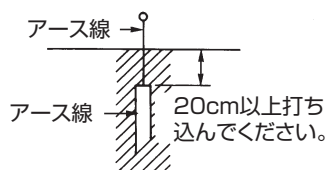
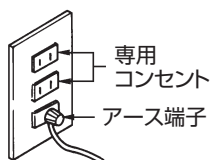
電源プラグを取り扱うときは、よく水分を拭き取ってください。

漏電ブレーカーを取り付ける。

注　意

ポンプに漏電ブレーカーを取り付けないで使用すると、感電する恐れがあります。

ご使用の際は市販の漏電ブレーカーを取り付けてください。

警　告

アースを取り付けないで使用すると、感電する恐れがあります。アースは必ず取り付けてください。

アースは必ず専用アース線に取り付けてください。

1 ポンプにアースを取り付ける。

⚠注　意

ポンプのアースを取り付けないで使用すると、感電する い恐れがあります。

アースは必ず専用アース線に取り付けてください。

- 必ずアースを取り付けてください。アースを付けたり外したりするときは、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。ときどきアースがしっかり付いているか点検してください。
- アース棒をご使用のときは、できるだけ湿った地中に打ち込んでください。

⚠注　意

左記のようなところにはアース線を接続しないでください。

- アース端子付コンセントをご使用のときは、アース線の先端を確実に接続してください。

☞アドバイス

アースの取り付け工事は電気工事店にご相談ください。アースを付けたり外したりするときは、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。

運転するために

運転の前に

ポンプを運転する前に、もう一度各部を確認してください。

1 12 頁「据え付け」をよく読み、ポンプを正しい状態で設置してください。

2 配管が正しくなされているか。
14 頁「配管」をよく読み、正しい配管を行ってください。

3 ホースストッパーに緩みがないか。
14 頁「配管」をよく読み、ホースストッパーで確実にホースを固定してください。

4 飼育水の温度が４０℃以上になっていないか。

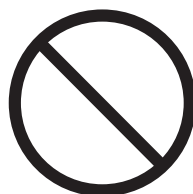
⚠ 注　意

40℃以上の飼育水に使用すると、故障したりする恐れがあります。40℃以上の飼育水に使用しないでください。

運転方法

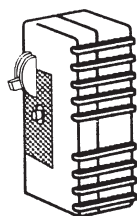
⚠ 警　告

煙やこげくさい臭いがしたまま使用すると、火災や感電が生じる恐れがあります。

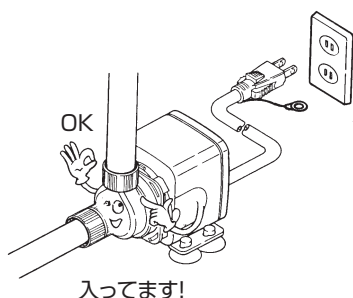
煙やこげくさい臭いがしたら、すぐに電源プラグを抜きお買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠ 注　意

陸上でポンプを設置する場合、ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定なところや、振動するところに設置すると、落ちたり、倒れたりしてケガをする恐れがあります。

ポンプは安定した水平なところで振動がないところに設置してください。

⚠ 注　意

ポンプに漏電ブレーカーを取り付けないで使用すると、感電する恐れがあります。

ご使用の際は市販の漏電ブレーカーを取り付けてください。

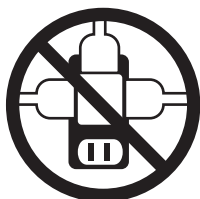
ポンプの始動

1 ＡＣ１００ボルト電源（一般家庭用）専用です。電源プラグをコンセントに差し込めばポンプは始動します。

● 電源プラグは水（海水）や雨などのかからないよう防水処置を行ってください。

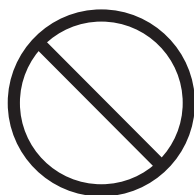
2 始動前にポンプ部内（および吸込み側ホース内）に水が入っていることを確かめてから電源を入れてください。

⚠ 警　告

本ポンプを交流 100V(50 または 60Hz) 以外で使用すると、故障や火災が生じる恐れがあります。

本ポンプは、交流 100V(50 または 60Hz) 以外で使用しないでください。

⚠ 警　告

延長コードを使用したりタコ足配線をすると、火災を生じる恐れがあります。

延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。

⚠ 注　意

必ずポンプ配管内に、水または海水を満たした状態でご使用ください。水分がなくなり空運転状態になりますと摩擦により熱が発生してポンプ内が破損します。ポンプの空運転は絶対にしないでください。

お手入れのしかた

本ポンプのお手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
また、ホースも外してください。

⚠注　意

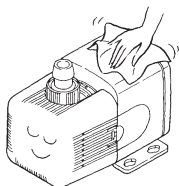
電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電などの恐れがあります。

電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行わないでください。

⚠注　意

ホースを接続したままお手入れを行うと、ホースが抜けて水漏れが生じる恐れがあります。

ホースを接続したままお手入れを行わないでください。

本体の清掃

本体の汚れを落とす際は、やわらかい布でからぶきをしてください。汚れが落ちにくい場合は、水または中性洗剤を少量しみこませた布でふきとってください。

⚠注　意

ベンジン、シンナー、灯油、みがき粉、非中性洗剤などを使用すると、製品をいためる恐れがあります。水または中性洗剤以外は使用しないでください。

お手入れや部品を交換する際など必要に応じてポンプを分解・組立する場合には、電源プラグをコンセントから抜き、下記の手順に従い行ってください。

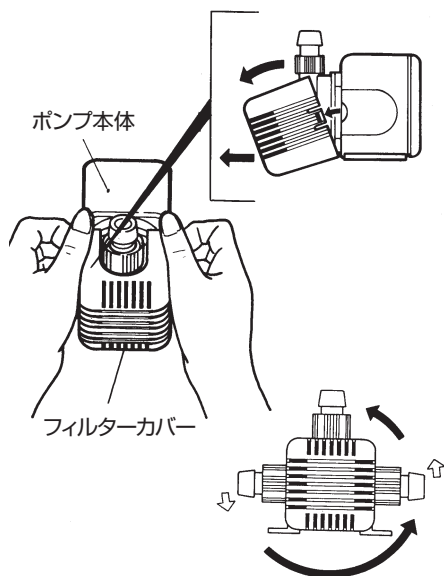
■ 分解

1 ポンプ本体よりフィルターカバーを外します。

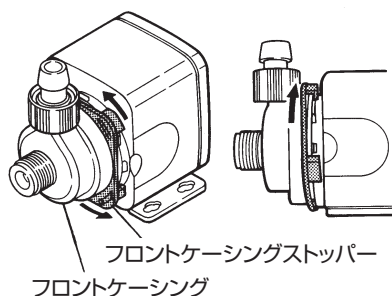
● 両手でフィルターカバーをもち、指先を取り付け部に入れ外側へ押し出すようにして、手前に引っ張り取り外してください。

※ 吐出口が横方向に取り付けてある場合

☞ アドバイス

無理に引っ張るとフィルターカバーが破損しますのでていねいにゆっくり取り外してください。

・ＲＳＤ-２０Ａ型
ポンプ本体よりフィルターカバーを左に少し(約１５°)回し取り外してください。

外しずらい場合はさらにねじり縦方向に取り付けなおし 1 項の要領で取り外してください。

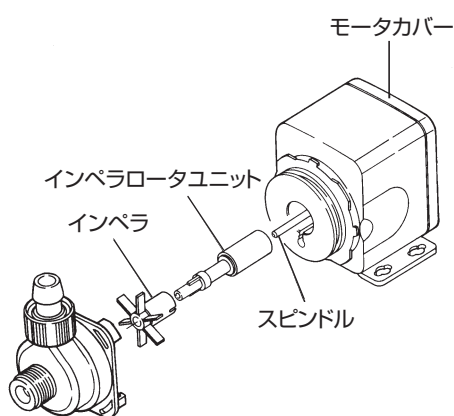
・ＲＳＤ-４０Ａ，５０Ａ型
フィルターカバーの下側から取り付け部を外側へ押し出すようにして、手前に引っ張り取り外してください。

2 フロントケーシングを外します。

フロントケーシングストッパーを左方向に回し、手前にまっすぐに引き離しストッパーごと引き抜いてください。（抜きにくいときは左右に回しながらゆっくり引き抜いてください。）

※ RSD-40A，50A 型の場合

フロントケーシングストッパーのマーキング箇所を持ち、矢印の方向にひねり取り外してください。

⚠ 注　意

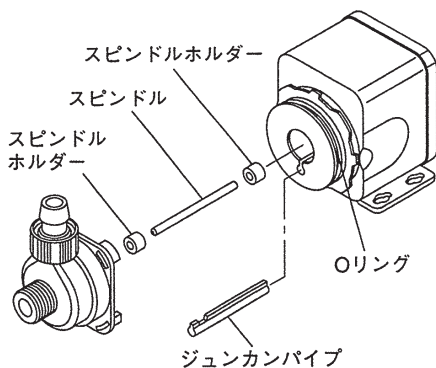
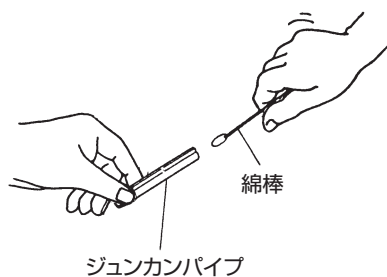
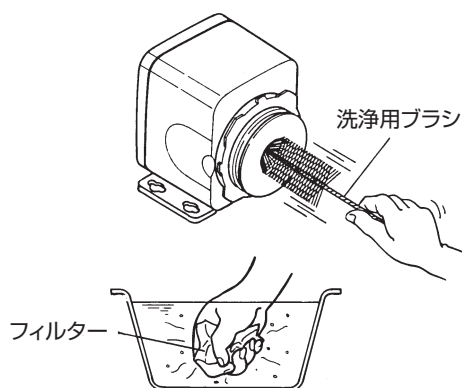
斜め方向に無理に引き抜くと、スピンドルが折れる恐れがありますので、まっすぐていねいにゆっくり引き抜いてください。

3 インペラを引き抜きます。（インペラロータユニットが付いた状態で外れます。）

4 インペラとインペラロータユニットを分離します。（引っ張れば外れます。）

● インペラロータユニットにはマグネット (磁石) が付いていますので砂鉄など吸着させないようにしてください。もし吸着したときは完全に取り除いてください。

☞ アドバイス

※ **分解した部品は紛失、破損のないよう一ヶ所にまとめて保管してください。**

※ **モータカバーは接着し固定してありますのではがさないでください。**

5 スピンドルホルダー、ジュンカンパイプ、Oリングを分解・組立する場合は、27 ～ 29 頁「消耗部品の交換方法」の項を参照ください。

■ 洗浄

分解した部品、モータ内部を水洗いしてください。（各部品は中性洗剤を少し付けた布で洗った後、水洗いするとよりきれいになります。）

● モータ内部は付属のブラシを使い洗ってください。

● フィルターは別容器に入れ水中でモミ洗いして付着したゴミなどを取り除いてください。

⚠注　意

フィルターに水アカやゴミなどが付着していると、ポンプ室内が水で満たされず、空運転となり、ポンプが破損する恐れがあります。

フィルターはいつも清潔にしておいてください。

● ジュンカンパイプ (スピンドルホルダー発熱防止用) を洗浄する際は、綿棒 (細目) を使いパイプ内をきれいに掃除してください。

⚠注　意

水アカやゴミなどが付着していると、パイプ内の通路をふさぎ、水流の循環を妨げてしまい、充分な発熱防止効果を得られません。パイプ内はいつも清潔にしておいてください。

■ 組み立て

洗浄後、分解した手順と逆の順序で次のことに注意して組み立ててください。

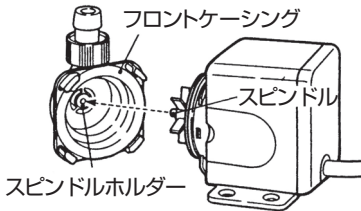
● O リングの入れ忘れ

29 頁「消耗部品の交換方法」の 5・6 項（O リングの交換）を参照し取り付けてください。

● インペラとインペラロータユニットの結合

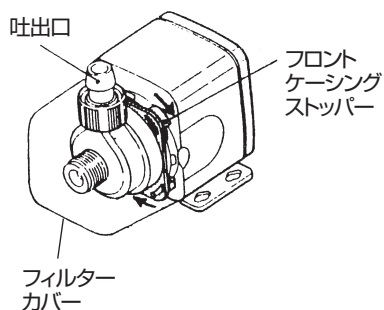
インペラのスリ割部とインペラロータユニットの冷却穴位置を合わせ結合してください。（カチッと音がします。）

● フロントケーシングの取り付け

ポンプ本体に取り付ける際は、スピンドルホルダー（フロントケーシング内に取り付いています。）の穴にスピンドルの先端が挿入されなければなりません。吐出口からのぞき、スピンドルに対してまっすぐに左右に回しながら取り付けてください。

アドバイス

分解時にスピンドルホルダーがフロントケーシングから抜け、スピンドルに付いたまま外れた場合 (繰り返し使用しますと消耗し少しづつ緩んできます。) には、スピンドルホルダーをいったんスピンドルより抜いて、水につけフロントケーシングに押し込み装着してから取り付けてください。

⚠ 注　意

無理に取り付けるとスピンドルが折れる場合がありますので、まっすぐにていねいにゆっくり取り付けてください。

● フロントケーシングストッパーを取り付け吐出口の向きをずらすとフロントケーシングストッパーが外れることがあります。外れたり緩んでいる場合は、必ず取り付けなおしてください。

⚠注　意

フロントケーシングストッパーが緩み、外れた状態で使用すると、水漏れやポンプを破損することがあります。必ず、フロントケーシングストッパーの取り付けをきちっと行ってください。

● スピンドルホルダー、ジュンカンパイプ、Ｏリングを分解・洗浄した場合は、組み立ての際取り付け忘れのないように必ず確認してください。

消耗部品の交換方法

■ 消耗部品

長期にわたって運転する場合には、適切な予備部品が必要です。
特に消耗部品は、予備部品として常時ご用意されることをお勧めいたします。

部　品　名　称		個　数	交　換　目　安
インペラ ユニット	インペラ インペラロータユニット	1 セット	
スピンドル ホルダー		2	・摩耗して、容易に抜けるようになってきたら ・弾力性がなくなってきたら
ジュンカン パイプ		1	・容易に外れるようになったら
O リング (ポンプ用)		1	・亀裂やキズがあるとき ・硬くなり、弾力性がなくなってきたら
O リング (吸込み用)		1 注 1	
キスゴム		4	・吸着力が劣ってきたら

注 1：RSD-20A,40A 型の場合は吐出口用を含め 2 個になります。

■ 消耗部品の交換方法

50Hz専用インペラ

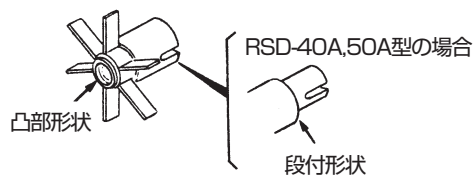
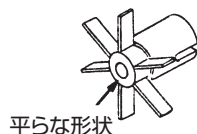
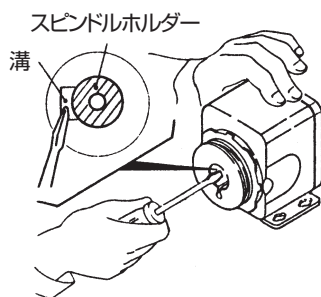
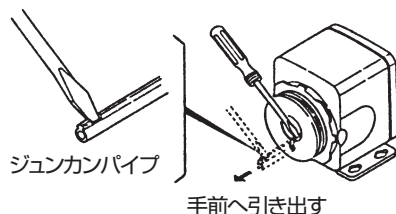
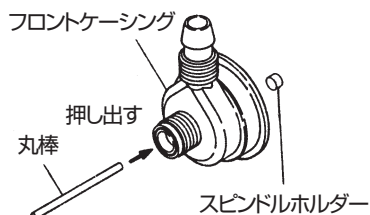
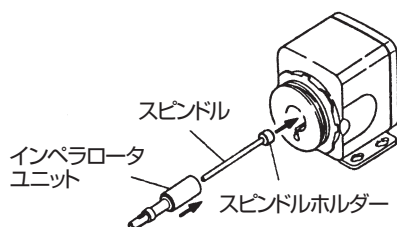
60Hz専用インペラ

1 インペラユニット

インペラは５０Ｈｚ専用、６０Ｈｚ専用と２タイプに分かれています。確認してからお取り付けください。

▶ 50Hz 専用インペラ
先端が凸部形状になっています。（ＲＳＤ-４０Ａ，５０Ａ型は円筒部が段付形状になっています。）

▶ 60Hz 専用インペラ
先端が平らな形状になっています。

※ 60Hz 地域では 50Hz 専用インペラは使用できません。50Hz 地域では 60Hz 専用インペラは使用できますが、吐出流量が少なくなります。

● 取り出す場合

2 スピンドルホルダー（モータ側取り付け用）

▶ 取り出す場合

モータ内の溝にマイナスドライバー（呼び6mm）の先端を入れ、スピンドルホルダーを引き上げて取り出します。

● 取り付ける場合

▶ 取り付ける場合

① スピンドルにスピンドルホルダーを取り付け、モータ内の取り付け穴に挿入し押し込みます。

② 次にスピンドルにインペラロータユニットを通してスピンドルを抜き、インペラロータユニットでさらに押し込み取り付けます。

3 スピンドルホルダー（フロントケーシング側取り付け用）

▶ 取り出す場合

フロントケーシングの吸込み口側より丸棒などを使い押し出します。

▶ 取り付ける場合

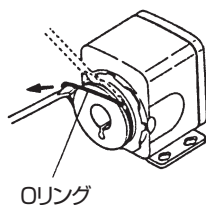
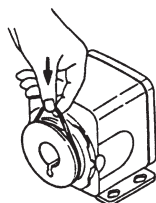
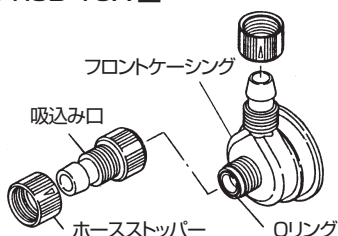
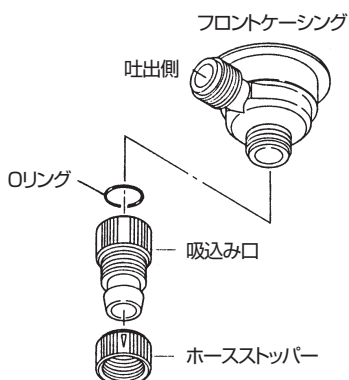
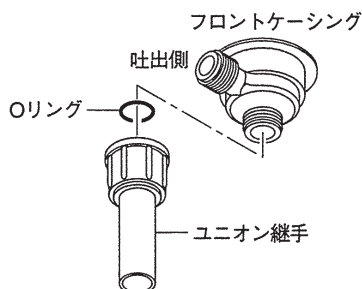
スピンドルホルダーを水に付け、フロントケーシングの挿入口へ押し込み取り付けます。

4 ジュンカンパイプ

▶ 取り出す場合

ジュンカンパイプの溝にマイナスドライバーなどを差し込み、手前へ引き出して、抜き取ります。

▶ 取り付ける場合

突き当たるところまで押し込みます。（挿入部より０．５～１mm 引っ込む位置になります。）

5 O リング (ポンプ用)

▶ **取り外す場合**

マイナスドライバーを差し込み、引っ張り上げて取り出します。

・キズを付けないように注意してください。

▶ **取り付ける場合**

ねじれのないように取り付けてください。Oリングがねじれていると液漏れの原因となります。

・Oリングに水をつけ、Oリング溝に片側を引っかけ、反対側をつまんで軽く引っ張り上げて指を離すと、ねじれずに取り付けられます。

6 O リング (吸込み口、吐出口用)

● RSD-10A 型

RSD-10A 型の場合

フロントケーシング (吸込み側) のOリング溝にOリングを装着してから、吸込み口をネジ込み取り付けます。

・Oリングは確実にOリング溝へはめ込んでください。

● RSD-20A・40A 型

RSD-20A・40A 型の場合

吸込み口・吐出口 (どちらも同じものです。) を下にして、それぞれのOリング溝にOリングを挿入し、フロントケーシングにネジ込み取り付けます。

・Oリングは、溝からはみ出さないよう確実にはめ込んでください。

● RSD-50A 型

RSD-50A 型の場合

吸込み口・吐出口を下にして、それぞれのOリング溝にOリングを挿入し、フロントケーシングにネジ込み取り付けます。

・Oリングは、溝からはみ出さないよう確実にはめ込んでください。

⚠ **注　意**

O リングのはめ込みが不充分なまま取り付けますと、液漏れや送液不良または送液しないことがあります。

故障の対処方法

■ 修理を依頼される前に

本ポンプのご使用中に異常が生じた場合、お使いになるのをやめ、次の表で故障原因を確かめてから、お求めになった販売店にご相談ください。

⚠ 警　告

ポンプを改造すると火災や感電が生じる恐れがあります。

ポンプが故障したり、破損したら、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

原因 ＼ 現象	電源プラグをよく差し込んでいない。または抜け。	ケーシング内に空気溜まりがある。	接続ホースの結合不完全。または緩み。	Oリングのキズ・損傷または取り付け忘れ。	フィルターの目づまり。	ホースが長すぎる。	インペラにゴミが付着。または欠損。	スピンドルの破損。	水面よりポンプの位置が高い。	スピンドルホルダーの摩耗損傷。	空運転している。	ホースストッパーの締め込み不足。	60 Hz 地域で 50 Hz 専用ポンプを使っている。
ポンプが始動しない。	○							○		○			○
吐出しない。		○					○	○	○		○		
水流が弱い。		○	○	○	○	○	○					○	
異常音がする。							○	○		○	○		
水漏れする。			○	○								○	
騒音が大きい。		○											○
振動が大きい。		○					○			○	○		
対策	コンセントに差し込む。（または停電している）	空気を吸っている原因を取り除く。	締めなおす。または増し締めする。	※交換する。または取り付けなおす。	フィルターをもみ洗いする。※または交換する。	適度の長さに調整する。	定期点検し、汚物を取り除く。※または交換する。	※交換する。	水面より低い位置に設置する。	※交換する。	電源プラグを抜き、ポンプ吸込み側ホースに水を満たす。	締め込みなおす。	※インペラを 60 Hz 用に替える。

※印部の対策が必要な場合はお求めになった販売店にご相談ください。

■ 仕様

項目 ＼ 型式	RSD-10A	RSD-20A	RSD-40A	RSD-50A
定格電圧 (電源)	AC100V			
定格周波数	50Hz 専用、60Hz 専用			
定格消費電力	10W	26W	65W(50Hz) 62W(60Hz)	70W
最大流量	10 ℓ / 分	20 ℓ / 分	40 ℓ / 分	45 ℓ / 分
最高揚程	1.6m	2.3m	3.5m	3.1m
使用水温度	0 ～ 40℃			
ホース口径 (内径)(適合ホース)	φ 15mm	φ 19mm		φ 19mm (吐出側)
取り付け配管口径 (呼び径)	取り付け られません	塩ビパイプ 16A		16A(吐出側) 20A(吸込み側)
重　　量	約 1kg	約 1.5kg	約 2.4Kg	

▶ 定格周波数：ポンプは５０Ｈｚ専用と６０Ｈｚ専用の２タイプに分かれています。
（ポンプモータ部に貼ってある銘板をご覧ください。）
※ 周波数の異なる地域では始動しないことがあります。（６０Ｈｚ地域で５０Ｈｚ専用ポンプを使った場合。）このようなときは、お求めになった販売店にご相談ください。６０Ｈｚ専用のインペラに交換すれば、使用できます。

▶ ＲＳＤ-２０Ａ・４０Ａの塩ビ配管接続はユニオン継手 (別売) を取り付けることにより可能となります。

保証・サービスについて

1. 保証書について

保証書の「お買い上げ日」「販売店名」など所定事項の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みになった後、大切に保存してください。なお、保証書の再発行はいたしませんのでご注意ください。保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理については、下記の「2. 保証期間中の範囲と修理」の項をご覧ください。

2. 保証期間中の範囲と修理

1) 保証期間は納入の日から 1 年間です。

2) 保証期間中に、正常なご使用にもかかわらず、弊社の製作上の不備により故障や破損が発生した場合には、当製品の故障・破損箇所を無料修理させていただきます。

3) 次の原因による故障・破損の修理および消耗品の交換は有料とさせていただきます。
- ● 保証期間満了後の故障・破損。
- ● 正常でないご使用または保管による故障・破損。
- ● 弊社指定品以外の部品をご使用の場合の故障・破損。
- ● 火災、天災、地変などの災害および不可抗力による故障・破損。

4) お客様よりのご指定の規格、または材料を用いた製品が、故障・破損などを生じた場合、弊社ではその責に応じられませんのでご了承願います。

5) 取り扱い液の化学的、もしくは流動的な腐食、液質による異常・故障に対しては、弊社では補償いたしかねます。ご契約の際、弊社にて選定した材質については、推薦できる材質を意味し、その材質の耐食性などを保証するものではありませんのでご了承願います。

6) 故障・破損原因の判定に疑義が生じた場合は、お客様と弊社との協議の結果によるものとします。

7) ご使用中に発生した故障に起因する諸費用、その他の損害の補償はいたしかねますので、ご承知おき願います。

3. 修理について

ご使用中に異常を感じたときは、ただちに運転を停止して、故障か否かをご点検ください。(「修理を依頼される前に」の項を参照してください。)

1) 修理をご依頼される前に、再度この取扱説明書をよくお読みになり再点検してください。

2) 本機は訪問修理はいたしません。修理の際は、お求めになった販売店にご相談ください。

3) ご贈答・ご転居などで、お求めの販売店にご依頼できない場合は、直接当社にご相談ください。

4) 誤った修理は、火災や感電などの危険な事故につながります。ご家庭で分解する際は、必ず「お手入れのしかた」「消耗部品の交換方法」に記載されている範囲で行なってください。

合　格

本品は厳重なる品質管理のもとで製造され、
検査合格したことを証明いたします。

保　証　書

製　品　名	レイシー水陸両用ポンプ
ご 購 入 日	平成　　　年　　　月　　　日
取扱店	

SAMPLE

1. 保証期間はお買い上げの日から1ヵ年です。
2. 保証期間中に、正常なご使用かつ適正なメンテナンスをされているにもかかわらず当社の設計、製作上の不備により故障や破損が発生した場合には、故障または破損箇所を無料修理させていただきます。
3. 次の原因による故障・破損の修理および交換は有料とさせていただきます。
   ①保証期間満了後の故障・破損。
   ②取扱いの不注意や正常でないご使用または保管による故障・破損。
   ③当社指定品以外の部品をご使用の場合の故障・破損。
   ④当社または当社指定業者以外の修理・改造による故障・破損。
   ⑤火災・天災・地変などの自然災害および不可抗力による故障・破損。
   ⑥保証書に購入店の捺印がない場合。
   ⑦保証書の提示がない場合。
4. 本製品の故障による損害、その他本製品を使用することによって生じた損害について、弊社は一切その責任を負いかねますので、ご了承ください。

（注意）※ 保証書は大切にご保存願います。万一紛失されても再発行いたしませんので、ご注意ください。

※ アフターサービスのご連絡は購入された取扱店にお問い合わせください。

REI-SEA

T189-13（13/11）

株式会社 イワキ 東京支店２部４課 レイシー担当
http://rei-sea.iwakipumps.jp/

IWAKI REI-SEA

関東地区・甲信地区・静岡・愛知・三重・岐阜
TEL 03-5825-2141　FAX 5825-2144
〒101ー0031
東京都千代田区東神田2丁目5-15 住友生命東神田ビル11F

関西地区／大阪支店 TEL 06-6943-6444 FAX 6920-5033
九州･沖縄地区／九州支店 TEL 093-541-1636 FAX 551-0053
東北地区／仙台支店 TEL 022-374-4711 FAX 371-1017
中国地区／広島営業所 TEL 082-271-9441 FAX 273-1528
北陸地区／新潟営業所 TEL 025-284-1521 FAX 282-2206
四国地区／高松営業所 TEL 087-834-2177 FAX 863-3205
北海道地区／札幌営業所 TEL 011-704-1171 FAX 704-1077

⚠ 輸出に係るご注意

本製品は日本国内用に設計されています。国外でのご使用は保証いたしかねます。本取扱説明書における使用の技術に関しては、外国為替令別表に定められた役務取引許可対象技術のいずれかに該当いたします。輸出または国内であっても輸出に係る提供の際は、経済産業省の役務取引許可が必要となる場合がありますのでご注意願います。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.